上　海

上海は、1843年の南京条約により対外貿易港として開港した都市。中国最大の都市、最大の海港としての地位を現在も維持している。ＧＤＰの比例は、第一次産業1.5％、第二次産業50.1％(電子設備、通信設備、輸送機器、電気機械、金属化工、化学製品が主)、第三次産業48.4％（小売・飲食、金融、不動産が主）（2003年）である。2010年世界博覧会に向けて急成長する都市である。

7月19日(月)　上海

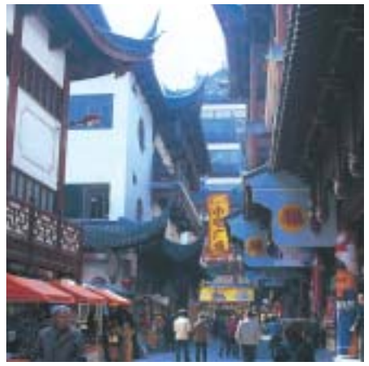
上海上越高級五金有限公司(上越マテリアル(株)) 視察

上越マテリアル(株)社長山本秀樹様より、中国進出と現状をお聞きしました。現在、男女共3交替制、賃金も同じ。人件費が安いので、機械化にしない部分も多い。ＩＰ電話により、上越との通話は無料です。中国進出には、企業単独では難しく、現地の優秀なスタッフが必要とのことでした。

7月20日(火)　上海

上海豫園(ヨエン)、新天地他、市街地見学

豫園
1559年に造園を開始してから18年もの歳月を要して完成した中国式庭園。



（参加者からの感想）

- 初めて中国を訪問する者にとって、現地企業を見学出来、大会社の話も聞けて参考になった。進出を考える企業にとっては、もっと進出企業を見たいのではないか？
- 上海のみの参加だったが、最新の中国の様子がわかった。中国の業界団体等（商工会議所のような団体）との意見交換、交流の場が必要だと思う。
- 景勝地の観光も重要な外交だと思う。
- 次回は、商業、サービス業の中国視察を企画していただきたい。

編　集　後　記

猛暑に加え、空港での離陸トラブルなどで予定通りに行かない部分もあった中国経済ミッションでしたが、皆様のご協力で無事に終了できました。現地での成果はもちろん、参加者同士の交流も大きく、ミッションを通じて芽生えた仲間意識は、これからも続くことだと思います。次回ミッション開催の折も、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。（A）

長野・上越地域連携協議会ニュース

発行日／平成16年10月1日　発行／長野・上越地域連携協議会　事務局/長野市七瀬中町276 長野商工会議所内、上越市新光町1-10-20 上越商工会議所内

2004 中国経済ミッション
中国　北京・青島・上海産業経済視察

今年度事業として、中国経済ミッションが、7月14日(水)～21日(水)に開催されました。ミッションの目的は、現地企業を視察し情報収集を行い、事業拡大や提携、販路拡大を図る企業を側面より支援すること、また、提携パートナーの発掘や商談により企業の活性化を図ることです。

行政機関の参加による表敬訪問の実施、八十二銀行様の協力による現地勉強会や長野進出企業の現地視察等により中国に新たなネットワークづくりを構築するミッションとなりました。

北京(ペキン)
- 人口／1381.9万人　・面積／116807.8㎢
- 一人当たりのＧＤＰ／32,061元(約3,873ドル)
- 行政体制／13区、5県

青島(チンタオ)
- 人口／700万人　・面積／10654㎢
- 一人当たりのＧＤＰ／24,830元(約3,000ドル)
- 行政体制／7区、5県

上海(シャンハイ)
- 人口／1716.9万人
- 面積／6340.5㎢（群馬県とほぼ同じ）
- 一人当たりのＧＤＰ／46,582元(約5,628ドル)
- 行政体制／18区、1県

訪問先は、北京、青島、上海で、37名が参加しました。

直江津港物流の活性化に

中国経済ミッション団長 上越市長　木浦　正幸

今回のミッションは、行政のみならず上越商工会議所、長野・上越地域連携協議会のほか幅広い業界の皆様からご参加いただいた訪問団でしたので、それぞれの視点、さまざまな角度から中国の現状をご覧いただけたものと思っております。

上越市といたしましては、「直江津港の利用促進」を目的としておりましたので、訪問先の上海市や青島市では、市政府や港湾関係機関の関係者とお会いし、直江津港のポートセールスを行うとともに、中国へ進出している日系企業の方々にも直江津港の利用促進を呼びかけてまいりました。また、中国日立の山本社長様からは、中国におけるビジネスのノウハウや中国が日本企業に対して期待しているものなどを学ぶことができ、大変有意義な機会が持てたと考えております。

上越市としては、ミッションに参加された皆様から、今回の訪中を今後の対中貿易、投資のきっかけとしていただき、直江津港の物流の活性化に結びつくことになれば幸いと考えております。

今後も上越商工会議所、長野・上越地域連携協議会、新潟県と協力、連携をとりながら、市としても距離の近さを生かしたアジア地域との経済交流の促進を図ってまいりたいと思います。

発展する中国経済を目のあたりに

長野･上越地域連携協議会 会長　大島　精次

平成14年、当会は初めて上越市、長野商工会議所、上越商工会議所と合同で目覚ましい発展を遂げる中国経済を視察すべく「中国経済ミッション」を実施しました。平成15年、同じく中国の西安・青島・上海へのミッションを予定していましたが、新型肺炎:ＳＡＲＳの影響により視察を断念致しました。

そして平成16年、ＳＡＲＳの猛威が沈静化するなか、更なる成長を遂げた中国経済の中で、2008年のオリンピックに沸く北京市、2010年の万博が中国初の総合博覧会となる上海市、港湾整備が進み日本企業が多数進出している青島市を視察するため、2年ぶりに中国経済ミッションの実施となりました。特に上海市では、当会副会長の八十二銀行㈱副頭取石井様よりご配慮頂き、八十二銀行上海事務所首席代表の佐藤様より上海進出長野企業のお話をお聞きするなど、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。

７泊８日という過酷で厳しいスケジュールの中、「実際に発展する中国経済の現状を目のあたりにする」という非常に価値あることであったと参加者一同確信しております。今回その一部でも伝えられないかと思い、「長野・上越地域連携協議会ニュース」を発行させていただきました。

最後になりましたが、次回ミッションを企画した時には、また大勢の参加をご期待いたしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。

北　京

北京市は「京」と略称されており、中華人民共和国の首都で、政治・文化の中心及び国際交流の中心の１つである。北京には、50万年前から人類が生活していた歴史、3000余年の街づくりの歴史、700余年も全国的な政権が都をこの地に置いた歴史があり、中国の七大古都の１つ、著名な歴史文化都市の１つである。
外資使用状況は、2001年末現在、世界の五大陸の101の国・地域の業者がすでに北京で投資を行っている。ＧＤＰの比例は、第一次産業3.3％、第二次産業37.8％、第三次産業58.9％（2001年）である。

7月15日(木)　北京

世界遺産　万里の長城、明の十三陵視察

万里の長城

秦の始皇帝時代に、騎馬民族の侵入を防ぐため、膨大な人力と年月をかけて造られた万里の長城。長さ6350kmもあり、はるかシルクロードの先までその名残をとどめています。

明の十三陵

明の十三陵には、明朝3代目の永楽帝から最後の崇禎帝まで前後200年におよぶ明代13人の皇帝が眠っているといわれています。

天安門

北京の中心に位置する北京のシンボル。正面には国章と毛沢東主席の肖像画、その左右には「中華人民共和国万歳」と「世界人民大団結万歳」という２つのスローガンがあります。1949年10月1日には、毛沢東主席がここで新中国成立を宣言しました。

青　島

青島は、半島都市で、その三方を海に囲まれ、海岸線の総延長距離は730kmで49の港を持つ。郊外に巨大な工場団地があり、韓国や日本を中心とした多くの外国企業が進出していて、山東省最大の商業都市となっている。温暖湿潤で、避暑地として有名。青島最大の特徴は、ドイツ風の街並み。

7月16日(金)

北京→青島

海爾Haier（ハイアール）集団視察

1984年、青島で冷蔵庫生産から創業し、さまざまな家電製品を生産。現在、売上804億元のハイアールでは、価格競争に参加せず、品質重視。中国において初めてのブランドメーカーであり、中国で一番大きい家電企業として成長しています。アメリカ、東南アジア、中東にも工場を出したほか、日本の三洋電機と提携し、日本にも進出。「競争ではなく協力が必要」と語っていました。

ハイアールから見た青島の街並

青島日本人会
市政府関係者との交流会

夜には全員で王朝大酒店で青島市、港湾局、日本人会の皆さんと懇親夕食会を開催しました。

7月17日(土)　青島

日立製作所と意見交換会

中国ビジネスにおいては、日立は、1952年、日本企業として電気製品１番の上陸。設備投資、ノウハウの提供を行い、現在は、中国で生産、日本に持ち帰るようになっています。日本はリーダーから中国のサポーターとなる必要があることをお聞きしました。

青島経済技術開発区管理委員会
青島新港視察

青島港は、世界で14番目に大きく、中国では3番目。日本への定期便は100を超えています。青島では、1番に港、2番に工業、3番に観光。青島のＧＤＰは、30％の伸び率です。

青島新港ガントリークレーン

青島経済技術開発区管理委員会の皆さんとの交流会も行いました。

青島の街並

7月18日(日)　青島→上海

青島旧市内、石老人国家観光リゾート視察

ゴールデンビーチにつづく遊歩道

ドイツ様式の教会

有名なゴールデンビーチを見学。ゴールデンビーチという名のとおり、黄金色に輝く砂がきれいな観光地でした。

日系企業との交流会

日系企業３名の方と訪問団との交流会が和やかに行われました。

ゲスト／神原汽船(中国)船務有限公司　総経理　小森博文様
八十二銀行上海代表処　首席代表　佐藤克彦様
上越マテリアル株式会社　代表取締役　山本秀樹様